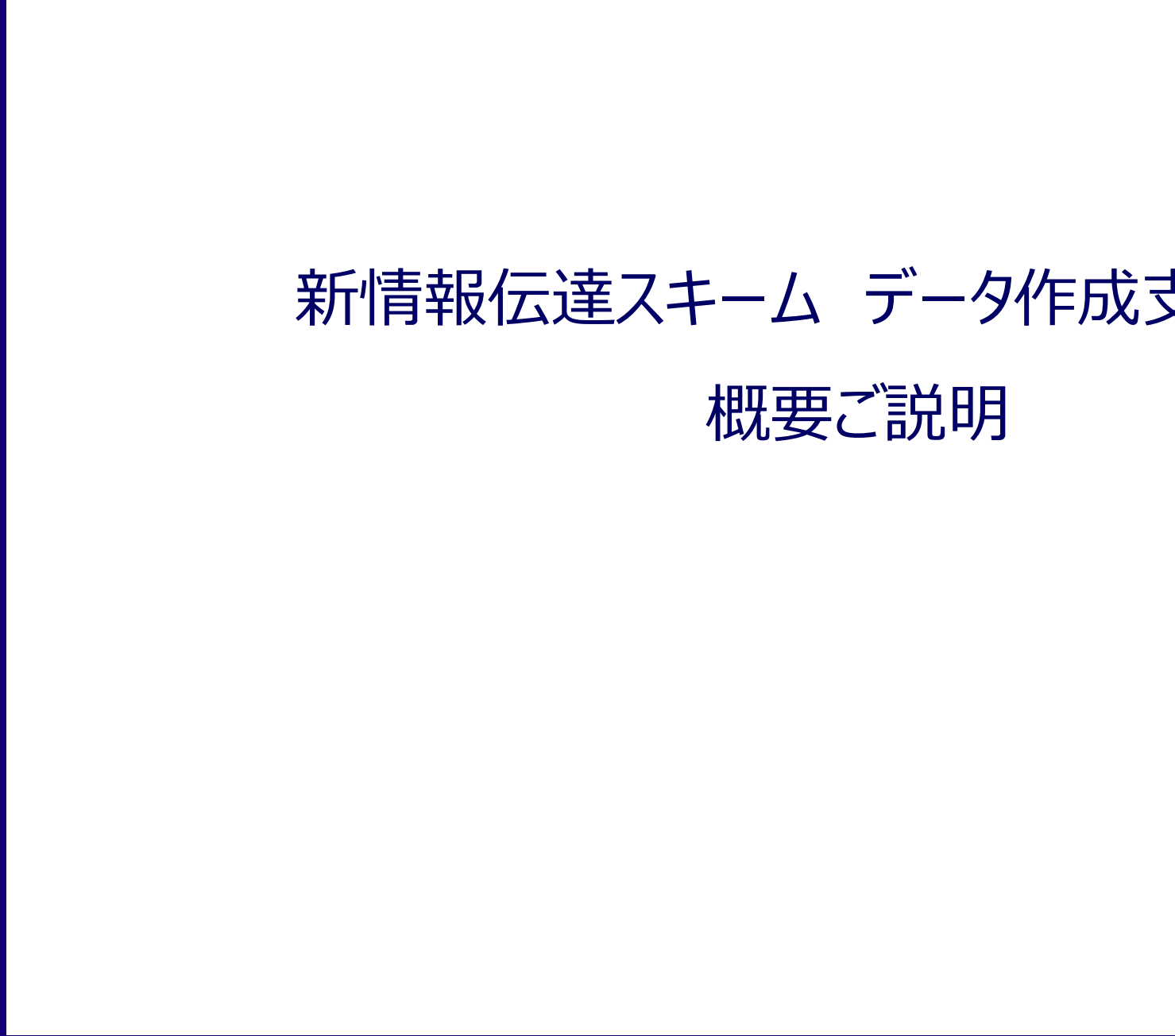



chemSHERPAデータ作成支援ツール

概要のご紹介

平成27年9月4日
JASIS2015 講演資料

chemSHERPA事務局
(みずほ情報総研株式会社)



新情報伝達スキーム データ作成支援ツール 概要ご説明

1. データ作成支援ツールの位置づけ

本研究会で検討する「情報伝達スキーム」とは、以下の3つを主要な要素として構成される仕組みを指す(他に、運用ルール・ガイドライン等の文書、普及・教育活動等も新スキームの重要な要素)。



情報伝達の対象範囲は「物質リスト」として定義される。そのルール化が不可欠。

II. データ作成支援ツールの目的と特徴

新スキームデータ (XML) を作成・入力を支援するツール。
成形品ツールと化学品ツールの2つを開発。
主な特徴は以下の通り。

■ 業種横断的な利用を想定

- ✓ 成分情報と各業界等が設定する範囲（エリア）の遵法判断のための情報の2つのレベルを設定
- ✓ 複数のエリアを想定した作り、エリア情報の外部リスト化

■ 提供型と依頼回答型の両方を想定

- ✓ 自ら提供データを作成／依頼情報を読み込み情報を追記して回答を作成のどちらも可能
- ✓ 一製品一ファイル（一品一葉）だけでなく、複数製品を1ファイル（多品一葉）で依頼・回答することも可能

■ IEC62474準拠

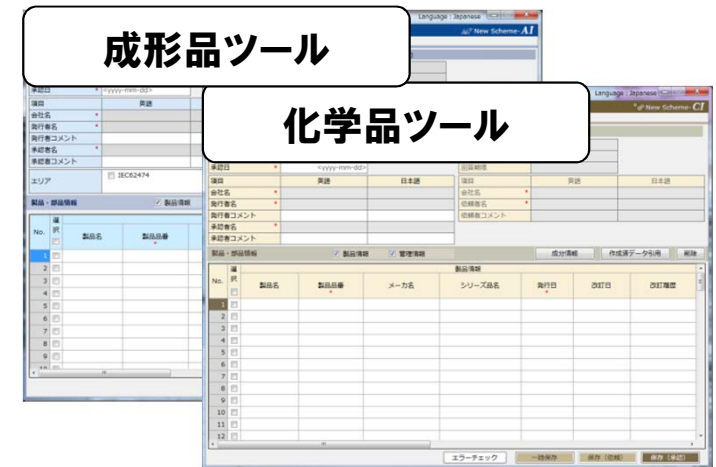
- ✓ IEC62474の物質リストに対応（エリアとしてIEC 62474を選択した場合）
- ✓ 出力ファイルのデータ形式は、IEC62474のXMLスキームを採用
- ✓ IEC62474の必須情報項目を網羅（承認者情報の追加など）

■ 既存のスキームからの継続性に配慮

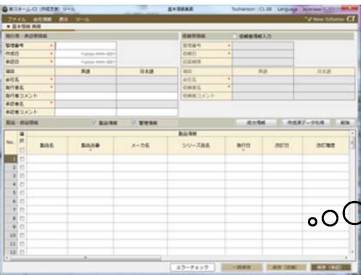
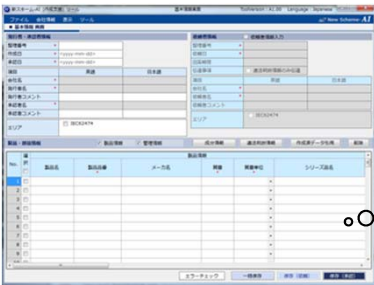
- ✓ JAMP (AIS, MSDSplus)、JGPSSIの各データの読み込み及び新フォーマットへの変換可能
- ✓ JAMP (AIS, MSDSplus)、JGPSSIの情報項目を網羅
- ✓ 成分入力画面は、AIS, MSDSplusのインターフェイスを踏襲し、AISの複合化機能も継承

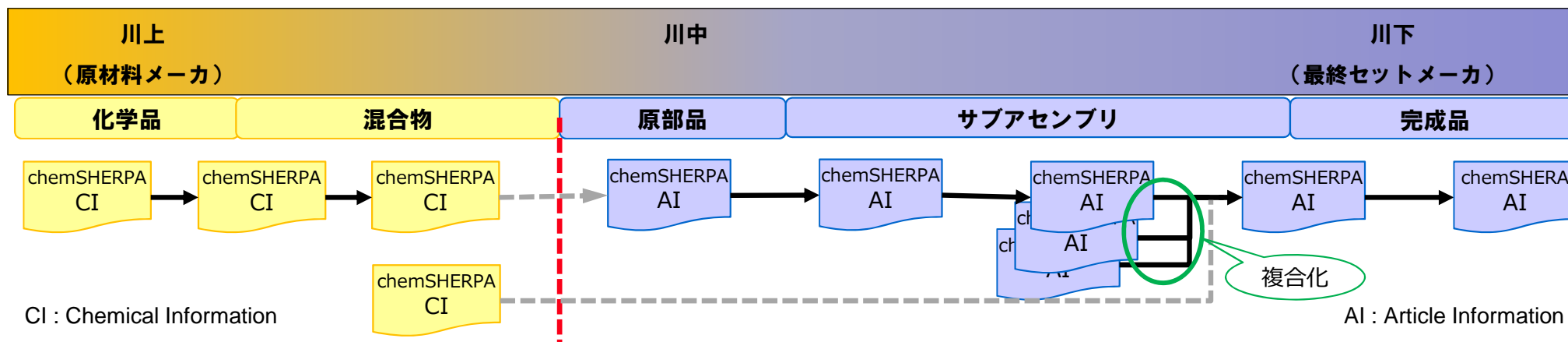
■ 入力しやすいインターフェイスとデータ作成支援機能

- ✓ 物質や除外項目は一覧から検索して入力することが可能
- ✓ 成分情報の複合化機能（成形品ツール）など
- ✓ 作成済みデータの取り込み機能
- ✓ 成分情報からエリアの遵法判断情報へのデータ変換機能（変換可能な部分のみ）



IV.2つのデータ作成支援ツール

	chemSHERPA化学品データ作成支援ツール	chemSHERPA成形品データ作成支援ツール
	 <p>全体的に黄色系トーン</p>	 <p>全体的に水色系トーン</p>
使用想定ユーザ	化学物質や混合物を提供する事業者	成形品を提供する事業者
伝達情報（出力）	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理対象基準に該当する物質の物質名および含有濃度 <p>※その他製品情報、会社情報等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成形品の質量 ● 構成部品、材質、管理対象基準に該当する物質の物質名および含有濃度 ● 指定されたエリアの物質(群)名に対する閾値を超えた含有の有無(Y/N)、指定された単位での含有量、除外用途など（エリアを指定した場合） <p>※その他製品情報、会社情報等</p>
成分の複合化機能	なし	あり



III. データ作成支援ツールの機能

<画面編集機能>

- 入力する情報ごとに画面を用意
会社情報／製品・部品情報／
成分情報／署名／遵法判断情報（*）
／複合化(*) *:成形品のみ
- 帳票出力(EXCEL形式)
 - ・成形品：画面単位(基本/遵法判断/成分)
 - ・化学品：製品単位
- 外部リストでマスタ化された情報の
選択入力（物質/材質/用途/他）
と該当法令フラグの最新化



- ・OS: Microsoft Windows Vista,7,8,8.1
- ・画面解像度: XGA(1024 × 768)以上
- ・.NET Framework 4以上
- ・Microsoft Excel 2007以上

<入力支援機能>

- 成分情報から遵法判断情報に変換
- 成分情報の複合化
- 作成済新スキームデータの引用
(追加取込／更新取込)

<署名機能>

- 承認者情報の保持
- データ出力時の確認画面表示
- 新スキームデータへの署名出力

<新スキームデータ入出力機能>

- IEC62474形式のXML
- 複数XMLをZIP化して入出力
- データの識別出力
正式データ／一時保存データ／依頼データ／エラー
※データの違いを識別できるファイル名で出力

<コンバート機能>(時限措置有)

- 既存スキームデータを新スキームの項目に変換して
読込
 - ・対象の既存スキーム
JAMP-AIS,MSDSplus(ver4.x)
JGPSSI(ver4.xx)

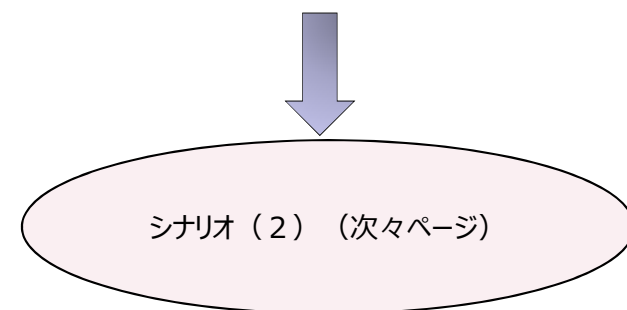
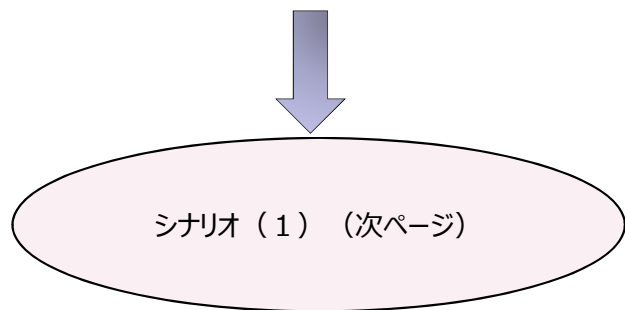
IV. ツール付属品

- 操作マニュアル
 - 操作方法の説明
- 入カマニュアル
 - 指定項目に入力すべき内容の考え方と、入力上の制約等
 - 成分→遵法情報変換の内容、制限事項（成形品ツールのみ）
 - 旧フォーマットのコンバートにおける制限事項
 - 入力フロー

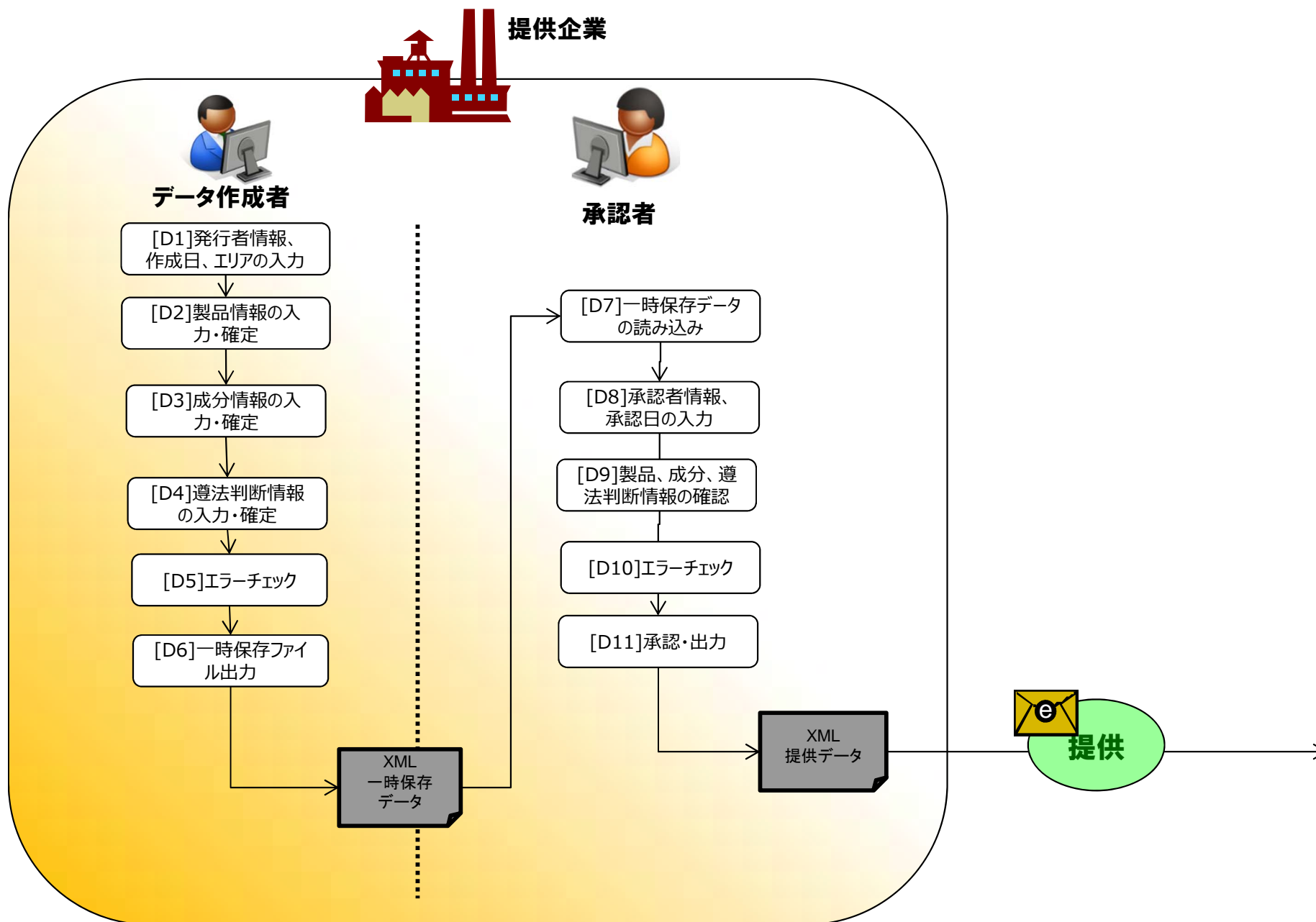
など
- 利用ルール
 - ツールを用いた製品含有化学物質情報伝達のルール

V. 想定業務フローシナリオ

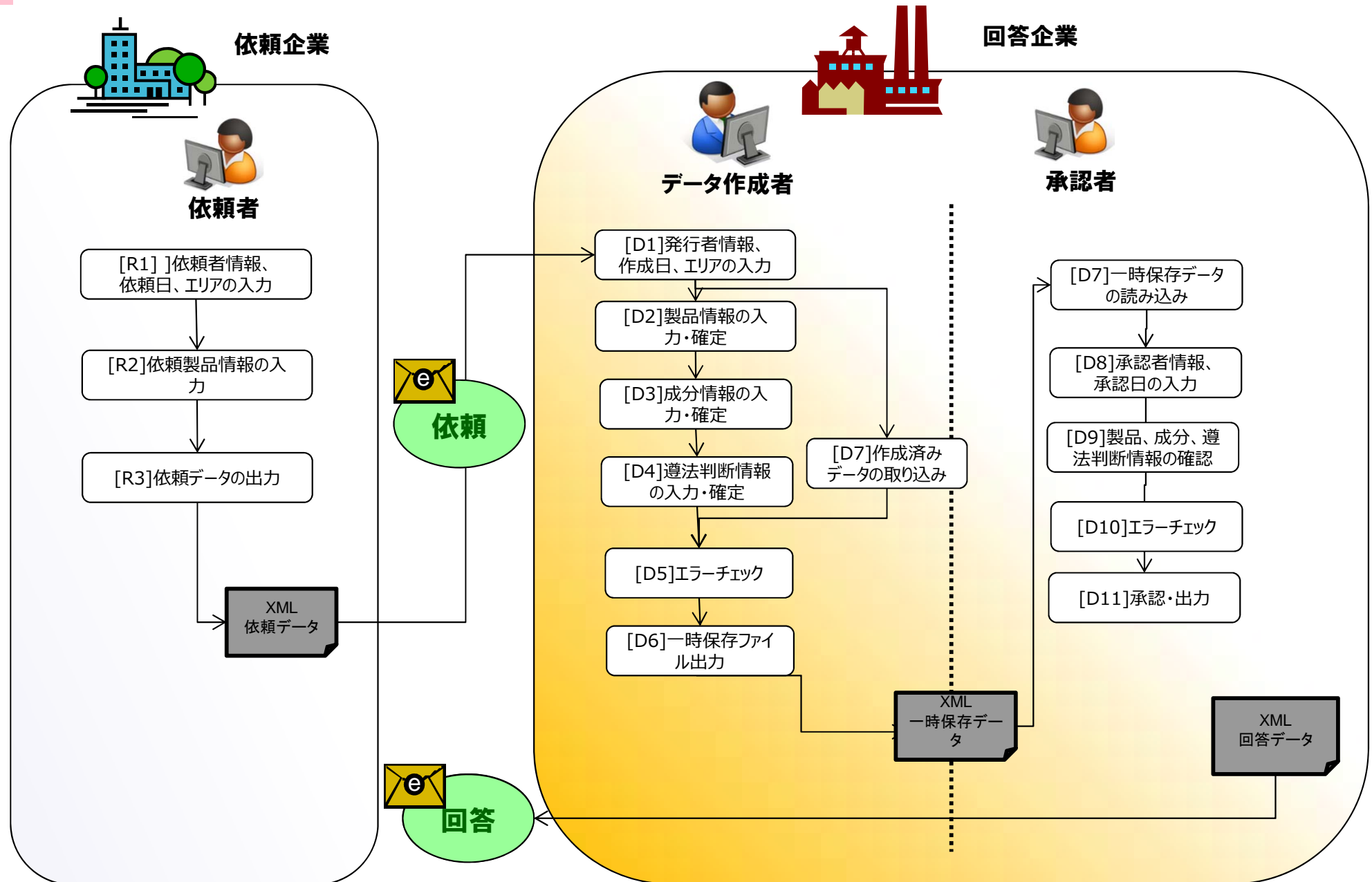
業務	提供型	依頼回答型	
概要	<p>提供側企業が自らデータを公開</p>	<p>依頼企業の依頼に対して、作成済のデータ(または新規に作成したデータ)を送付</p>	<p>依頼企業の依頼データに、提供企業がデータを記入して送付</p>
手順	<ol style="list-style-type: none"> ①データを作成し、ホームページ、ITシステム等に公開 ②公開された場所から必要に応じてダウンロード 	<ol style="list-style-type: none"> ①メールや電話等でデータの提供を依頼 ②依頼を受けて、作成済のデータを利用、または、データを新規に作成(データ引用も含む)し、提供 	<ol style="list-style-type: none"> ①条件指定(依頼者型番、エリア等)したデータを送付 ② ①のデータに回答を追記(データ引用含む)し、回答送付



V. 想定業務フロー シナリオ（1）提供型



V. 想定業務フロー シナリオ（2）依頼回答型



データ作成支援ツール検証作業ご協力をお願い

- 期間：2015年5月～2015年9月末
- 検証対象：データ作成支援ツール、操作マニュアル、入カマニュアル、利用ルール
- 実際の業務における製品含有化学物質の情報伝達を想定して、各社の業務フローに即した形で、ツールを検証していただく。
- 検証の上、課題を「検証結果記入用紙」にご記入の上、chemSHERPA事務局までお送りください。また、新情報伝達スキームに関するアンケートにご回答ください。

URL: <https://chemsherpa.net>



chemSHRPA事務局 みずほ情報総研株式会社
sherpa@mizuho-ir.co.jp